

## 尼崎市みどりのまちづくり計画(素案)に対するパブリックコメント募集結果

4人の方から、10件の意見をいただきました。  
寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
施策1-1魅力的な公園づくりについて			
1	大人も子どもも、年代別に皆が遊んで憩えるような公園機能にしてほしい。	1	<p><b>【すでに盛り込み済み】</b> 本計画では、公園の利用実態や施設状況のほか、地域ニーズに合わせて身近な公園の機能分担に取り組むこととしております。この機能分担に当たりましては、今回いただいたご意見をはじめとして、地域住民からも様々なご意見をいただきながら、魅力的な公園となるよう取り組んでまいります。</p> <p>なお、計画素案P20「安全安心で快適な公園づくり」に記載しているインクルーシブの視点を取り入れた公園整備につきましては、社会的な包摂も含んだ取組であることがわかるような表現に改めます。</p> <p>また、本計画で「魅力的な公園づくり」や「快適な街路樹づくり」等様々な協働型事業に取り組んでいくにあたり、市民のみなさんをはじめとする「みんな」で取り組んでいく協働の視点が重要であることの理解が深まるよう、概要版素案P8について、みどりとのかかわりイメージの図やみんなで取り組む協働型事業を例示するようにします。</p>
2	小田南公園や大物公園で公園樹の伐採が目につく。すでに人のための施設はたくさんあるので、自然環境の保護、生物が棲める空間、ヒートアイランド化の抑制等、環境を第一に考えた公園整備をすべきだ。	1	<p><b>【すでに盛り込み済み】</b> 小田南公園では、計画素案P18「様々な特色を生かした公園のリノベーション」の先行的な取組として、プロ野球施設の設置に伴うにぎわい空間の創出や防災機能の向上等のリニューアル整備を行い、より魅力的な公園となるよう取組を進めているところです。</p> <p>また、このリニューアル整備は、計画素案P17「公園の機能分担」の先行的な取組でもあり、小田南公園の広場機能を大物公園へ移転するほか、新たに球場ができるため公園樹の伐採も必要となりますが、状態の良い樹木は公園内の他の場所へ移植を図るほか、四季を感じられるような樹木を新たに植栽する等、公園樹を質の高い状態で保全し、魅力的な公園となるよう整備してまいります。</p> <p>なお、他の公園で公園樹を伐採する際も、事前に地域住民と丁寧に合意形成を図り、地域の声を適切に反映しながら進めていく考えであるため、計画素案P18について、実際に公園のリノベーションをする際の樹木の取扱いを、そうした考え方がわかるような表現にします。</p> <p>また、本計画における環境の取組として、小田南公園周辺は環境省の「第1回脱炭素先行地域」に選定され、環境に関する様々な取組を行うほか、小田南公園以外におきましても、猪名川自然林の保全(計画素案P42)、生物の生息・生育環境へ配慮したみどりの保全(計画素案P43)、樹木の木陰形成によるヒートアイランド現象の緩和(計画素案P45)等に取り組むことを計画へ記載しており、今後も環境に配慮したみどりのまちづくりを進めてまいります。</p>
3	子ども広場の廃止について、確かに少子化ではあるが、大人も使える公園として残していく子ども広場があってもいいと思う。	1	<p><b>【すでに盛り込み済み】</b> 本計画では、一定の地域(小学校区単位等)内にある公園を対象として、利用実態や施設状況を勘案して、身近な公園の機能分担を行うこととしております。この検討を通じて、様々な観点から子ども広場の機能や役割を検証し、その結果、子どもの遊び場としての役割を終え、かつ、コミュニティ広場や大人も使える公園等の利用ニーズもない子ども広場については廃止していく方向で整理することとしています。</p> <p>こうしたことから、計画素案P20「まちの魅力を高める公園マネジメント」に記載している子ども広場について、市の考え方が明確に伝わるような表現にします。</p>
4	Park-PFI制度は公の機能に適合するのか。早合点のような気がする。	1	<p><b>【その他(多様な考え方の一つであるが一般化が難しい)】</b> Park-PFI制度を活用することで、都市公園に民間のノウハウや資金を活用することができるため、たとえば、カフェやショップのような便益施設等を設置することによる地域の活性化や公園の魅力向上といった効果が期待できます。</p> <p>本市でPark-PFI制度の導入を検討していく際は、受託する民間企業が収益化だけを目的として参入することがないように注意するとともに、Park-PFI制度で整備した公園が尼崎市民にとって利用価値の高い施設となるよう、行政が適切に管理・監督し、公の施設としての機能や役割が損なわれないよう留意しながら導入の是非について検討を進めてまいります。</p>

## 尼崎市みどりのまちづくり計画(素案)に対するパブリックコメント募集結果

4人の方から、10件の意見をいただきました。  
寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
<b>施策1-2快適な街路樹づくりについて</b>			
5	今、市内の状況がどうなのかを把握するのが第一段階としてやるべきことではないか。昔はゴミの清掃や街路樹のせん定が定期的を実施されていた。	1	<b>【意見を参考とする】</b> 計画素案P23「今後を見据えた街路樹のあり方」に記載のとおり、日常的な維持管理情報を基に、街路樹の実態や優先事項の整理のほか、地域や路線の特性を考慮して検討を進めることで、まずは街路樹を適正化するための方向性を整理することとしております。 そのうえで、対策優先度の高い路線を対象として、試行的に街路樹の適正化を実施しながら、地域住民の意見も踏まえて様々な観点から検証し、街路樹の適正化計画を策定する予定です。 なお、街路樹の適正化に当たっては、安全性、景観、地域の生態系への影響のほか、維持管理にも配慮した樹種への変更を検討するとともに、樹齢の若い樹木に更新することによる環境保全の面からみた効果についても考慮することで、市内全体でみどりの質が低下しないよう努めてまいります。
6	街路樹の伐採が多い。近隣の方から苦情が出たのかも知れないが、野鳥の餌となって生物の命を支え、夏には人にも木陰を提供してくれ、何の損傷もなかった健康な樹木が伐採されるのは悲しい。街路樹は最大限残すことが必要だが、やむを得ず伐採せざるを得ない場合は、それに代わる樹木を植栽してほしい。	1	<b>【意見を参考とする】</b> 計画素案P23「今後を見据えた街路樹のあり方」に記載のとおり、日常的な維持管理情報を基に、街路樹の実態や優先事項の整理のほか、地域や路線の特性を考慮して検討を進めることで、まずは街路樹を適正化するための方向性を整理することとしております。 そのうえで、対策優先度の高い路線を対象として、試行的に街路樹の適正化を実施しながら、地域住民の意見も踏まえて様々な観点から検証し、街路樹の適正化計画を策定する予定です。 なお、街路樹の適正化に当たっては、安全性、景観、地域の生態系への影響のほか、維持管理にも配慮した樹種への変更を検討するとともに、樹齢の若い樹木に更新することによる環境保全の面からみた効果についても考慮することで、市内全体でみどりの質が低下しないよう努めてまいります。
7	どこに何を植えるかについて、樹医の意見を聞いて進めるべきだ。	1	<b>【意見を反映した(付加)】</b> 街路樹の樹種の選定については、街路樹の適正化の取組の中で、路線の特性に合わせて様々な観点から検証を行いながら、地域住民の意見を参考にして進めることとしておりましたが、地域住民の意見だけでなく、樹木に関する専門家等の意見も参考にしながら検討を進めていけるよう、計画素案P23の街路樹の適正化に関する本市の基本的な考え方に、「樹木に関する専門家」の文言を追記し、「市民や樹木に関する専門家等からの意見を聴きながら検討を進めてまいります。」に修正します。
<b>施策2-1みどりを守り育てる活動支援について</b>			
8	私は市内の小さな畑で、主に大豆を育て、収穫した大豆から味噌や豆腐、納豆など伝統的な方法で大豆を加工して食べるという活動をしている。この活動には、子育て世代から中高年まで、幅広い人たちが参加しており、不登校の子どもが居る親子グループも参加していて、一緒に畑で虫やカエルを観察したり、調理実習に参加したりしている。 この活動は、幅広い世代にとっての居場所としてコミュニティ作りの柱になる事ができ、環境保全の場や活きた食育活動の場でもある。 市内には、空き家を壊した後の空き地で、草だらけになってる所がたくさんある。そんな土地を活かして、地域のコミュニティ作りの場として活用できるよう整備してもらえないか。	1	<b>【すでに盛り込み済み】</b> いただいたご意見は、計画素案P32「農地の活用及び保全につながる活動支援」に記載している、休耕している農地や空き地を貸農園等として活用する事例に類するものと考えます。 この取組は、貸農園だけでなくコミュニティ農園でも実施例があり、土地活用や農産物の地産地消のほか、ご意見をいただいた「地域コミュニティづくり」の効果も期待できることから、計画素案P32の「みどりを通じた都市課題への対応の検討」の説明文について、農地や空地の活用に地域コミュニティ醸成の効果があるということがわかるような表現にします。
<b>施策3市民の安全や生物多様性を守るグリーンインフラの推進について</b>			
9	緑化を進める際には、害虫発生や維持管理も考慮しないとイケない。本市の沿岸部であれば市街地では植えられない高木を植えることもできるため、沿岸部で埋立地などを樹林にするのがいい。	1	<b>【すでに盛り込み済み】</b> 本市の臨海地域(国道43号線以南)では、兵庫県が平成14年に策定した「尼崎21世紀の森構想」に基づき、森と水と人が共生する魅力と活力にあふれる環境創造のまちを目指す取組を進めています(当該構想については本計画の資料編に記載します)。 本計画では、本市にまとまったみどりがないことを受けて、民間事業者の工場敷地を条例に基づき緑化していくこと(計画素案P25)や、尼崎の森中央緑地における森づくり等(計画素案P44)に引き続き取り組むことを記載しています。
<b>水とみどりのネットワークについて</b>			
10	ムクドリ等のフン害が指摘されることもあるが、野鳥が集まることのできる空間が少ないため一箇所に集中していると考えられるので、分散させるためにも各地に緑地を残すことが必要だ。また、野草が生える空間もチョウなどの生きものにとって大事なので、樹木と合わせて残して頂きたい。	1	<b>【すでに盛り込み済み】</b> いただいたご意見のとおり、市内の各地で緑地等が分散的に配置されることにも、それらがネットワーク状につながることで、生物の移動経路や生息空間が形成されることとなるため、本市では、これまで水とみどりのネットワークの保全・創出に努めてまいりました。 今回の計画におきましても、計画素案P49「水とみどりのネットワークの保全・創出と利活用」に記載のとおり、引き続き、水とみどりのネットワークの保全・創出に努めるとともに、積極的に利活用する視点を加えて、取り組んでまいります。